【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出日】 平成26年5月9日

【四半期会計期間】 第42期第1四半期(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

【会社名】 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

【英訳名】 B-R 31 ICE CREAM CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 渡辺 裕明

【本店の所在の場所】 東京都品川区上大崎三丁目2番1号

【電話番号】 03(3449)0331

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 兼 経営企画室長 門田 浩

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区上大崎三丁目2番1号

【電話番号】 03(3449)0331

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 兼 経営企画室長 門田 浩

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第41期 第1四半期累計期間	第42期 第1四半期累計期間	第41期
会計期間		自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日	自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高	(千円)	3,763,146	3,717,272	20,524,461
経常利益	(千円)	170,450	135,384	2,052,090
四半期(当期)純利益	(千円)	91,287	82,303	1,129,560
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	735,286	735,286	735,286
発行済株式総数	(千株)	9,644	9,644	9,644
純資産額	(千円)	10,559,787	10,888,370	11,224,399
総資産額	(千円)	14,494,540	15,165,383	15,787,066
1 株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	9.47	8.54	117.22
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			80.00
自己資本比率	(%)	72.9	71.8	71.1

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 - 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
 - 3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社がないため、記載しておりません。
 - 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。 また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期累計期間(平成26年1月~3月)における我が国経済は、円安効果による輸出環境の改善や経済政策の効果により景気は緩やかな回復を続け、個人消費も底堅く推移いたしました。しかし、震災以降の消費行動の変化による外食市場の縮小と中食増加など、お客様の消費選別がますます進展いたしました。その影響により外食業界では業態を超えた競争が激化し、ファストフードにおいても厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーであります"We make people happy."「アイスクリームを通じて人々に幸せを。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと"FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)"に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

営業面においては、1月はアイスクリームの詰め合せ商品であるバラエティパック、ギフトボックスをお買い上げのお客様に、'スヌーピー'スクエアディッシュをプレゼントするニューイヤープロモーション(1月1日~1月13日)を実施し、フレーバーのバラエティさ・楽しさを訴え、高単価商品の拡販とヘビーユーザーの再来店を促進いたしました。

引き続き冬場のテイクアウト商品として、テイクアウト用保冷バッグやアイスクリームのパッケージも全て'ミッキー&ミニー'のデザインとした期間限定の新商品「'ミッキー&ミニー'Love図Loveバッグセット」(1月14日~3月14日)を販売し、お客様の購買意欲を高めました。

また、通年商品として"NEW'ミッキー&フレンズ'アイスクリームパーティーセット"を新発売し、テイクアウト商品ラインナップの強化を図っております。

3月の「ひなまつり」(2月15日~3月3日)では、"ひなだんかざり"、"おひなさまカップ"、ひなまつり 仕様のアイスクリームケーキなど期間限定商品を販売いたしました。更に2月28日までに"ひなまつりアイスクリームケーキ"をご予約いただいたお客様に「キッズコーン券」プレゼントを実施しオケージョン商戦の売上を確保いたしました。

3月4日からは、4年目になります「ワンダフルイースター」(3月4日~3月30日)を実施いたしました。 イースターらしいタマゴをモチーフにした"エッグカップサンデー"に新商品"ダブルエッグカップサンデー"を 加え、持帰り商品の"イースターバラエティBOX"、イースターに因んだアイスクリーム2種類(ヨーグピーチファン、イースターエッグハント)を販売し、3月の売上増を図りました。

なお、昨年12月26日から4月24日の期間は、苺の美味しさをたっぷり味わえる"フレッシュストロベリーサンデー"を販売し、アイスクリーム専門店サーティワンならではのシーズンサンデーを提供することによりブランドの差別化を図っております。

店舗開発の状況といたしましては、2014年から新しい店舗デザイン「Happy1.0」を導入し、店舗イメージ刷新を図っております。新しい店舗は当期7店開設し、当第1四半期末の店舗数は1,156店舗と前第1四半期末に対して44店舗増加いたしました。改装は当期17店実施し、既存店へも新しい店舗デザインの導入促進をいたしました。

以上のような商品やキャンペーンの強化による来店促進を図り売上増進に取り組んでまいりましたが、2月において2度にわたる週末の記録的大雪が大きく影響し、当第1四半期の売上高は37億17百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

売上原価は、円安による輸入原材料高騰及び国内乳原料価格上昇により14億96百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、21億4百万円(前年同期比1.9%減)となりました。これは主に、業容拡大のための販売促進費が増加(17百万円)しましたが、広告宣伝費の削減(42百万円)、管理徹底による店舗対策費の削減(11百万円)、物量減による配送・倉庫費の減少(9百万円)があったためです。

以上の結果、営業利益は1億16百万円(前年同期比25.8%減)、経常利益は1億35百万円(前年同期比20.6%減)、四半期純利益は82百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略 しております。

(2)財政状態の分析

当第1四半期末における総資産は前事業年度末に比べ6億21百万円減少の151億65百万円となりました。これは主に、有形固定資産に富士小山工場の一部生産設備を更新したことによる機械及び装置の増加がありましたが、流動資産で12月と3月の売上ボリュームの差等による売掛金の減少がそれを上回り、総資産は減少いたしました。

負債は前事業年度末に比べ 2 億85百万円減少の42億77百万円となりました。これは主に、流動負債でショッピングセンター内店舗の売上金が当社を経由して加盟店に支払われるため、一時的に発生する預り金の増加がありましたが、販売奨励金の支払いによる未払金の減少と、法人税等の支払による未払法人税等の減少がそれを上回ったため負債総額は減少いたしました。

純資産は前事業年度末に比べ3億36百万円減少の108億88百万円となりました。これは剰余金の配当額が四半期純利益を上回り、繰越利益剰余金が減少したことによるものです。

(3)事業上及び財政上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当社は、バスキン・ロビンス・フランチャイズド ショップス エルエルシーと"ライセンスおよび技術援助契約"を締結しており、アイスクリーム研究開発については同社で実施しているため、研究開発費は発生しておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)	
普通株式	38,003,000	
計	38,003,000	

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年5月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	
普通株式	9,644,554	9,644,554	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,644,554	9,644,554		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

- (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】 該当事項はありません。
- (4) 【ライツプランの内容】 該当事項はありません。
- (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年1月1日~ 平成26年3月31日		9,644,554		735,286		241,079

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】 【発行済株式】

平成26年3月31日現在

			17020年37101日兆日
区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式9,634,700	96,347	
単元未満株式	普通株式 1,354		1 単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,644,554		
総株主の議決権		96,347	

- (注) 1 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。
 - 2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式61株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

				1 7-20 - 1 -	7 7 3 0 · H 7 7 1 X
所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) B-R サーティワンア イスクリーム株式会社	東京都品川区上大崎 三丁目2番1号	8,500		8,500	0.09
計		8,500		8,500	0.09

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2.監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)に係る四半期財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成26年 3 月31日)
流動資産		
現金及び預金	3,004,401	3,121,82
売掛金	3,038,750	2,146,53
製品	812,510	812,29
原材料	429,030	520,14
貯蔵品	219,270	151,21
前渡金	18,211	50,10
前払費用	163,466	209,89
繰延税金資産	29,350	48,50
未収入金	19,324	28,63
その他	124,884	71,80
貸倒引当金	536	50
流動資産合計	7,858,665	7,160,43
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,943,052	1,943,0
減価償却累計額	1,174,806	1,187,14
建物(純額)	768,245	755,9
構築物	300,783	320,78
減価償却累計額	141,638	144,50
構築物(純額)	159,145	176,2
機械及び装置	2,114,769	2,243,12
減価償却累計額	1,714,148	1,712,47
機械及び装置(純額)	400,621	530,65
賃貸店舗用設備	3,402,492	3,425,2
減価償却累計額	1,752,674	1,814,4
賃貸店舗用設備(純額)	1,649,818	1,610,82
直営店舗用設備	443,977	415,6
減価償却累計額	165,160	161,20
直営店舗用設備(純額)	278,816	254,3
車両運搬具	66,845	68,9
減価償却累計額	32,148	34,10
車両運搬具(純額)	34,697	34,80
工具、器具及び備品	695,400	706,62
減価償却累計額	590,628	602,24
工具、器具及び備品(純額)	104,772	104,3
土地	695,362	695,36
建設仮勘定	476,749	510,09
有形固定資産合計	4,568,229	4,672,59
無形固定資産		
ソフトウエア	106,508	103,99
電話加入権	17,065	17,06
無形固定資産合計	123,573	121,0

(単位:千円)

		(辛世·川J <i>)</i>
	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成26年 3 月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	45,438	43,462
長期貸付金	3,401	3,094
従業員に対する長期貸付金	9,208	8,998
破産更生債権等	153,824	144,275
長期前払費用	616,176	564,753
繰延税金資産	121,981	122,900
敷金及び保証金	2,314,159	2,337,769
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	47,277	33,655
投資その他の資産合計	3,236,597	3,211,284
固定資産合計	7,928,400	8,004,943
資産合計	15,787,066	15,165,383
·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	(単位:十円) 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	495,992	516,039
未払金	1,308,343	965,877
未払費用	29,623	34,517
未払法人税等	209,760	51,825
未払消費税等	29,091	
前受金	823,553	703,066
預り金	131,830	400,384
賞与引当金	30,296	101,253
役員賞与引当金	4,000	1,000
ギフト券回収損失引当金	2,032	188
その他	38,460	20,493
流動負債合計	3,102,983	2,794,644
固定負債		
退職給付引当金	169,484	173,566
役員退職慰労引当金	58,100	61,601
資産除去債務	84,023	84,245
長期預り保証金	1,148,075	1,162,956
固定負債合計	1,459,683	1,482,368
負債合計	4,562,667	4,277,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	5,905,910	5,602,774
利益剰余金合計	10,214,587	9,911,450
自己株式	16,893	16,893
株主資本合計	11,174,059	10,870,922
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,852	7,193
繰延ヘッジ損益	41,487	10,254
評価・換算差額等合計	50,340	17,448
純資産合計	11,224,399	10,888,370

(2) 【四半期損益計算書】 【第1四半期累計期間】

		(単位:千円)
	前第1四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	3,763,146	3,717,272
売上原価	1,461,220	1,496,250
売上総利益	2,301,926	2,221,022
販売費及び一般管理費	2,144,222	2,104,056
営業利益	157,703	116,965
営業外収益		
受取利息	82	119
店舗用什器売却益	16,855	14,541
為替差益	4	5,615
その他	1,524	639
営業外収益合計	18,466	20,916
営業外費用		
店舗設備除去損	5,166	2,171
その他	554	325
営業外費用合計	5,720	2,497
経常利益	170,450	135,384
特別損失		
固定資産売却損	-	248
固定資産廃棄損	12,898	6,857
特別損失合計	12,898	7,105
税引前四半期純利益	157,551	128,279
法人税等	66,264	45,975
四半期純利益	91,287	82,303

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

•	•
	当第 1 四半期累計期間 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 3 月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果
	会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実
	効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)及び当第1四半期累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

当社では、主として夏季に需要が伸びる製品の製造・販売を行っているため、第2、第3四半期会計期間の販売実績が、他の四半期会計期間に比べて高くなっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間における減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
減価償却費	256,502千円	262,262千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1.配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月22日 定時株主総会	普通株式	481,799	50.0	平成24年12月31日	平成25年 3 月25日	利益剰余金

2.基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1.配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月19日 定時株主総会	普通株式	385,439	40.0	平成25年12月31日	平成26年 3 月20日	利益剰余金

2.基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	9円47銭	8円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	91,287	82,303
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	91,287	82,303
普通株式の期中平均株式数(株)	9,635,993	9,635,993

⁽注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年5月9日

B-R サーティワンアイスクリーム株式会社

取締役会御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 加 藤 真 美 業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているB-Rサーティワンアイスクリーム株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの第42期事業年度の第1四半期会計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、B-R サーティワン アイスクリーム株式会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1.上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
 - 2.XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。